

京丹後市立図書館

2023年度

# おすすめの本

中学生

『命の授業 30万人が泣いた奇跡の実話』（ダイヤモンド社）

腰塚 勇人/著



手術は成功しました。しかし、首から下は、まったく動きませんでした…。「一生寝たきり」と宣告され、自殺未遂までした中学校の教師が、家族や生徒の応援と、感謝の心により、復活を遂げる奇跡の実話。

『カレーライスを一から作る 関野吉晴ゼミ』（ポプラ社）

前田 亜紀/著



みんなが、あたりまえのように食べている「カレーライス」。その材料である野菜、スパイス、お肉、お米、塩から、器やスプーンまで、すべてを「一」から作った、武蔵野美術大学「関野ゼミ」の9か月間の記録。

『赤毛証明』（くもん出版）

光丘 真理/作



今日、あたしは、「ふつう」でない印をおされた。生徒手帳の1ページ真ん中に、赤いゴム印で「赤毛証明」と…。「ふつう」ってなに？ この髪、どうしてダメですか？「自分らしく生きる」ために声を上げる少女の物語。

『スベらない同盟』（講談社）

にかいどう 青/著



「ひらめいた！ おまえ、漫才の台本書けよ」学校で不動の人気を誇るレオがいじめられている藍上とコンビで漫才をする。これで全て解決、のはずだったのに…。学校という閉じた特別な空気を描く、切なくさわやかなYA小説。

『ドーナツの歩道橋』（ポプラ社）



升井 純子/著

家族のこと、好き？ それともきらい？ 思いは毎日くるくるまわる。好きときらいは、とつても近いところにあるんだね。新しい学校と友だち、介護が必要な家族のこと。高校1年生の麦菜の心ゆれる毎日を見ずみずしく描く。

『保健室経由、かねやま本館。1』（講談社）



松素 めぐり/著 おとない ちあき/装画・挿画

友だちから突然、人格を否定され、胃痛を起こした中学生のサーマ。山姥のような不気味な白衣のおばさんに聞いたこともない第二保健室へ引きこまれるが、その床下から、あやしげな中学生専門の湯治場へとたどり着き…。

『星くずクライミング』（くもん出版）



檜崎 茜/著 杉山 巧/画

小学4年生でスポーツクライミングに出会い、練習を重ねてきた中学1年生のあかり。だがスランプに陥り、やめようと考えていた。そんなあかりが、目の不自由な人たちのスポーツクライミング、パラクライミングを知って…。

『リマ・トゥジュ・リマ・トゥジュ・トゥジュ』（講談社）



こまつ あやこ/著

マレーシアからの帰国子女、沙弥は日本の中学に順応しようと四苦八苦。ある日、延滞本の督促で有名な「督促女王」から図書室に呼び出され、一緒に「ギンコウ」に行くことに。それは短歌の「吟行」のことだった…。

『生きるぼくら』（徳間書店）



原田 マハ/著

あたしは、たしかに「なくしちゃった」とつぶやいたのでした。中学生の主人公が訪れた駅の遺失物係には「おはなし」が届けられていた。なくした「おはなし」を探し聞く、美しくふしぎな物語。

『ヒトリコ』（小学館）



額賀 濤/著

クラスで飼っていた金魚殺しの濡れ衣から壮絶ないじめの対象となった小5の日都子は、「みんな」には属さない「ヒトリコ」として生きる決心をする。高校に進学した彼女たちのもとに、金魚を置いて転校した冬希が戻ってきて…。

無断での複写・転載を禁止します。本の内容紹介はTRC MARCより転載しています。

ほかにもあるよ おすすめの本

『990円のジーンズが  
つくられるのはなぜ？』

長田 華子/著  
(合同出版)

『20歳（はたち）のソウル』

中井 由梨子/作  
(小学館)

『レイン』

アン・M. マーティン/作  
西本 かおる/訳  
(小峰書店)



貸し出し中の本は予約もできます。くわしくは職員におたずねください